

第4編 砂防編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要						
第1章 砂防堰堤	第3節 工場製作工	1-3-4	鋼製堰堤仮設材製作工	部材 部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \dots\dots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \dots\dots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて任意の部分を測定。						
		第8節 コンクリート堰堤工	1-8-4	コンクリート堰堤本體工 コンクリート副堰堤工	基準高 ∇ 大端部 w_1, w_3 堤幅 w_2 水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2 堤長 L_1, L_2	± 30 -30 ± 50 -100	図面の寸法表示箇所にて任意の部分を測定。					
	1-8-6		コンクリート側壁工	基準高 ∇ 幅 w_1, w_2 長さ L	± 30 -30 -100	図面の表示箇所にて、任意の部分を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。						
			1-8-8	水叩工	基準高 ∇ 幅 w 厚さ t 延長 L	± 30 -100 -30 -100	図面の表示箇所にて、任意の部分を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。					
	第9節 鋼製堰堤工			1-9-5	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水通部	堤高 ∇ 長さ ℓ_1, ℓ_2 幅 w_1, w_3 下流側倒れ Δ	± 50 ± 100 ± 50 $\pm 0.02H_1$	図面の寸法表示箇所にて、任意の部分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。			
		袖部	袖高 ∇ 幅 w_2 下流側倒れ Δ			± 50 ± 50 $\pm 0.02H_2$						
			鋼製堰堤本體工 (透過型)			堤長 L 格	± 50	図面の寸法表示箇所にて、任意の部分を測定。				格: 格子型鋼製砂防ダム A: 鋼製スリットダム A型 B: 鋼製スリットダム B型 L: 鋼製スリットダム L型
						堤長 ℓ 格・B・L	± 10					
		堤幅 W 格				± 30						
		堤幅 w 格・A・B・L				± 10						
高さ H 格・A・B・L		± 10										
高さ h		± 10										

第4編 砂防編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

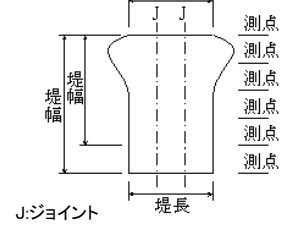
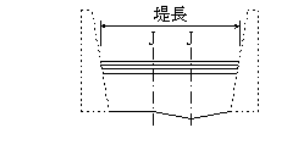
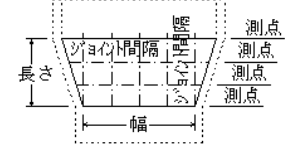
番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 砂防堰堤	第9節 鋼製側壁工	1-9-6 鋼製側壁工	堤高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
		長さ L	± 100				
		幅 w 1, w 2	± 50				
		下流側倒れ Δ	$\pm H/500$				
		高さ	$h < 3m$	-50			
	$h \geq 3m$	-100					
第2章 流路	第5節 床固め工	2-5-8 魚道工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。		
		幅 w	-30				
		高さ h 1, h 2	-30				
		厚さ t 1, t 2	-20				
		延長 L	-200				
第3章 斜面対策	第6節 山腹水路工	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお製品使用の場合の寸法は、規格証明書等による。		
		厚さ t 1, t 2	-20				
		幅 w	-30				
		幅 w 1, w 2	-50				
		高さ h 1, h 2	-30				
		深さ h 3	-30				
		延長 L	-200				
	第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ \varnothing	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
			配置誤差 d	100			
			せん孔方向 θ	± 2.5 度			
3-7-5 集水井工	集水井工	基準高 ∇	± 50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。			
		偏心量 d	150				
		長さ L	-100				
		巻立て幅 w	-50				
		巻立て厚さ t	-30				
止杭工	第9節 抑	3-9-6 合成杭工	基準高 ∇	± 50	10本につき1箇所以上測定。		
		偏心量 d	D/4以内 かつ100以内				

第6編 ダム編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

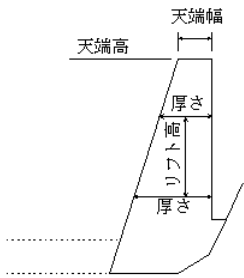
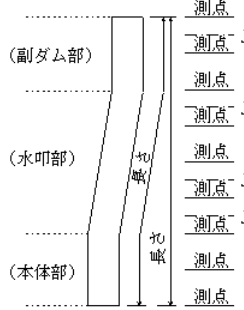
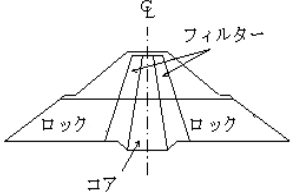
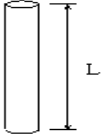
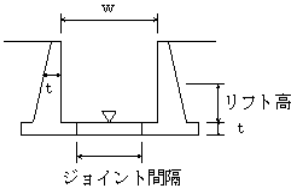
番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、検査員の指示による。		
		天端幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
		長さ	-100, +60			
	コンクリートダム工 (副ダム)	天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所で測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	±40			

(注)1. j : ジョイント



第6編 ダム編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要				
第1章 コンクリートダム	第4節 ダムコンクリート工	1-4	コンクリートダム工 (導流壁)	天端高 ▽ ジョイント間隔 リフト高 長さ 厚さ	±30 ±20 ±50 ±100 ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。	  J:ジョイント			
		第2章 フィルダム	第3節 盛立工	2-3-5	コアの盛立	基準高 ▽ 外側境界線	設計値以上 -0, +500	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。		
				2-3-6	フィルターの盛立	基準高 ▽	-0	5測点につき1箇所以上測定。		
						外側境界線	-0, +1000			
						盛立幅	-0, +1000			
2-3-7	ロックの盛立	基準高 ▽	-100	5測点につき1箇所以上測定。						
		外側境界線	-0, +2000							
第3章 基礎グラウチング	第3節 ボーリング工	3-3	ボーリング工	深 度 L	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。				
				配 置 誤 差	100					
				第2章 フィルダム	2	フィルダム (洪水吐)	基準高 ▽	±20	図面の寸法表示箇所にて、任意の部分測定。	
				ジョイント間隔			±30			
				厚 さ t			±20			
				幅 w			±40			
リフト高さ	±20									
長 さ L	±100									